

スカッと快感 「吹き矢」体験

市民会館 15人が参加

幅広い年齢層が気軽に楽しめる「スポーツ吹き矢」の体験教室が21日、中崎1の市立市民会館で開かれた。初体験の参加者も6人先の的に次々と命中させ、「スカッとします」と笑顔をみせていた。昨年発足した日本スポーツ吹矢協会兵庫明石支部（井雲晴隆支部長の主催。競技は長さ1・2メートルに、円すい形の矢を入れて吹く。矢を放つ前の動作に深呼吸を取り入れており、健康法の一つとしてもPRしている。



的に狙いを定め、矢を放つ教室参加者。中崎1

参加者は15人で、同協会公認指導員が「単純だが奥が深い競技。火を消すように一気に吹いて」などとコツを説明。5人並んだ参加者が合図に合わせて一斉に吹くと、放たれた矢が「パン」という乾いた音を上げながら、次々と的を射抜いていた。

大久保町山手台の北田周雪さん(78)は、長年続けてきたアーチェリーの代わりに楽しめるスポーツを探しているといい、「当たるとやはりいい気分。体力的に問題なくできそうだ」と満足そうだった。井雲支部長☎090・1896・5396

(小林良多)

大久保町山手台の北田周雪さん(78)は、長年続